

官僚制のユートピア

テクノロジ―、構造的愚かさ、リベラリズムの鉄則

デヴィッド・グレーバー著
酒井隆史訳

へだれもがひとつの問題に直面している。官僚の実践、習慣、感性がわたしたちを包囲している。わたしたちの生活は、書類作成のまわりに組織されるようになった。新自由主義と結びついた官僚制に斬り込み、反官僚主義的「想像力」を世界の根源に据えた変革のテキスト。ここでは、官僚制一般を解析するのではなく、暴力・テクノロジ―・合理性と価値を論点に据え、かつて人類が夢見た科学技術が人間の内面を規制する官僚システムを生み出し、「市場」原理の前に民主主義が屈服する様相が多様な角度から示される。日本社会の構造を論じる上でも示唆的なアプローチであり卓越した文明批評である。



B6判／380頁／3500円
以文社